

ランピースキン病の国内発生

※福岡県の乳用牛農場において、国内で初となる
ランピースキン病の発生が確認されました。

ランピースキン病とは

- ・主に、蚊、サシバエ等の吸血昆虫により感染し、感染した牛の移動により感染が拡大。
- ・全身の皮膚の結節や鼻汁、発熱などの症状を呈し、泌乳量の減少など生産性に影響を及ぼします。

本病を疑う症状

- ・発熱、鼻汁
- ・皮膚の結節
- ・泌乳量の低下
- ・リンパ節の腫大



侵入防止対策を徹底 してください。

- 1 毎日の健康観察：牛の移動時の健康観察の徹底、疑わしい牛の隔離。
- 2 害虫の駆除：殺虫剤の散布や粘着シート等の活用。
- 3 清掃・消毒：農場内の整理整頓や使用器具・畜舎の清掃と消毒。

毎日、牛の健康状態を確認するとともに、

**△ 本病を疑う場合は、かかりつけ獣医または
家畜保健衛生所に通報ください！**

【姫路家畜保健衛生所】TEL:079-240-7085

【朝来家畜保健衛生所】TEL:079-673-2331

【淡路家畜保健衛生所】TEL:0799-45-2411

緊急時：090-5967-0036・0037

緊急時：090-5967-0038・0039

緊急時：090-5967-0040・0041

最新情報は



兵庫県の家保
ホームページ



農林水産省
ホームページ

